



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2017年11月22日 発行

平成29年第46週(11月13日~11月19日)

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~46週
	第45週	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	2588 0.52	6 0.13	16 0.33	▲	6 0.30	15 0.75	▲								1 0.08	△	11444
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	2788 0.88	27 0.90	23 0.77	▼	12 0.92	11 0.85	▽		2 0.67	△	14 2.33	7 1.17	▽	1 0.13	3 0.38	△	1703
咽頭結膜熱	1984 0.63	58 1.93	44 1.47	▼	35 ◎2.69	26 ◎2.00	▽				22 ◎3.67	17 ◎2.83	▼	1 0.13	1 0.13		1106
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6914 2.19	130 4.33	146 4.87	▲	70 5.38	76 5.85	▲		7 2.33	△	47 ◎7.83	48 ◎8.00	▲	13 1.63	15 1.88	△	6282
感染性胃腸炎	13475 4.27	119 3.97	157 5.23	▲	77 5.92	105 8.08	▲	3 1.00	4 1.33	△	23 3.83	30 5.00	▲	16 2.00	18 2.25	▲	6304
水痘	1399 0.44	18 0.60	65 2.17	△	7 0.54	24 1.85	▲				7 1.17	37 ◎6.17	△	4 0.50	4 0.50		620
手足口病	4439 1.41	75 ◎2.50	65 ◎2.17	▽	17 1.31	16 1.23	▽	10 ◎3.33	14 ◎4.67	△	21 ◎3.50	23 ◎3.83	△	27 3.38	12 1.50	▽	3588
伝染性紅斑	225 0.07	19 0.63	6 0.20	▽							19 ◎3.17	6 ◎1.00	▽				660
突発性発しん	1371 0.43	15 0.50	22 0.73	△	6 0.46	5 0.38	▽	1 0.33	3 1.00	△	5 0.83	11 1.83	△	3 0.38	3 0.38		857
百日咳	42 0.01		1 0.03	△		1 0.08	△										25
ヘルパンギーナ	766 0.24	11 0.37	9 0.30	▼	8 0.62	4 0.31	▽	1 0.33		▽		1 0.17	△	2 0.25	4 0.50	△	1266
流行性耳下腺炎	1188 0.38	14 0.47	10 0.33	▽	6 0.46	3 0.23	▽				8 1.33	7 1.17	▽				587
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	589 0.85	2 0.25	8 1.00	△	1 0.25	4 1.00	△				1 1.00	4 4.00	△				173
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5 0.01																82
クラミジア肺炎	4 0.01																
マイコプラズマ肺炎	247 0.52	11 1.10	13 1.30	▲	6 1.50	7 1.75	▲	3 3.00	3 3.00					2 0.67	3 1.00	△	219
細菌性髄膜炎	19 0.04																5
無菌性髄膜炎	24 0.05																8

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
	無症状病原体保有者			1	1	※内、第45週追加報告分1件。
つつが虫病	患者	1				
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	2		1		肺炎球菌ワクチン接種歴:無し 2件、3回 1件。
梅毒	患者	1				※第45週追加報告分。

<通信欄>

※第46週に報告されたインフルエンザの迅速キットによる型別は、A型:16件です。
 ※トピックスで、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ				1	1	2	4		1		1	2			
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	1	2	1												16
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	4	2	12	3		1	1								23
咽頭結膜熱	1	2	6	6	11	3	4	8	1			1		1	44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	5	9	16	17	20	14	14	13	5	27	1	4	146
感染性胃腸炎	1	14	31	21	12	19	16	9	4	4	5	19	1	1	157
水痘	1	2	3	7	5	9	19	9	3	2	4	1			65
手足口病		3	25	12	8	4	5	4	1		1	2			65
伝染性紅斑					1	2	1					2			6
突発性発しん		8	11	2							1				22
百日咳					1										1
ヘルパンギーナ			5	1		2	1								9
流行性耳下腺炎			3		2	1		2	1					1	10

< 平成29年10月 月報 >

2017年11月22日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	26	6	15	4	2	2	5	2	4	190
	定点当り	1.40	2.60	1.50	3.75	4.00	2.00	1.00	2.50	0.67	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	7	2	3		1	2	3	3		63
	定点当り	0.70	0.70	0.50	0.75		1.00	1.00	1.50	1.00		
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1	1					1	2	19
	定点当り	0.20	0.30	0.25	0.25					0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数	1						1				31
	定点当り	0.10						0.50				
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	7				1	1		5	6	66
	定点当り	0.60	0.70				1.00	0.50		1.67	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	27	27	16	16	2	2	3	3	6	6	219
	定点当り	2.70	2.70	4.00	4.00	2.00	2.00	1.50	1.50	2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

< トピックス >

【咽頭結膜熱情報】

咽頭結膜熱の定点当たり報告数が、村山地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

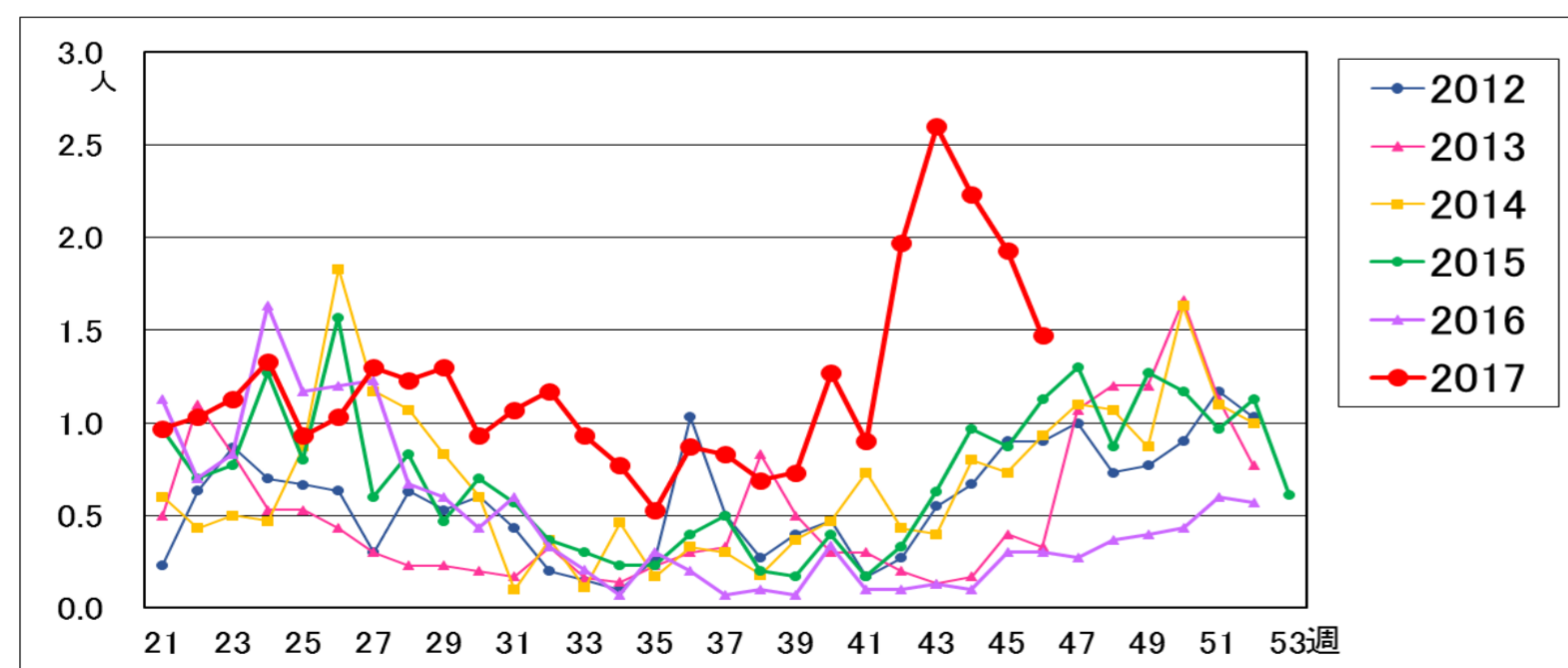
・咽頭結膜熱

警報開始基準値:3人 警報終息基準値:1人

・第46週 定点当たり報告数 (山形県:1.5人)

村山地区 2.0人、最上地区 0.0人、置賜地区 2.8人、庄内地区 0.1人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



咽頭結膜熱は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。通常夏期に地域全体で流行し、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークとなります。プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。

【症状】発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度持続します。眼に永続的な障害を残すことはありません。

【予防法】感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報】

A群溶血性レンサ球菌感染症の定点当たり報告数が、置賜地区で警報レベルとなっています。

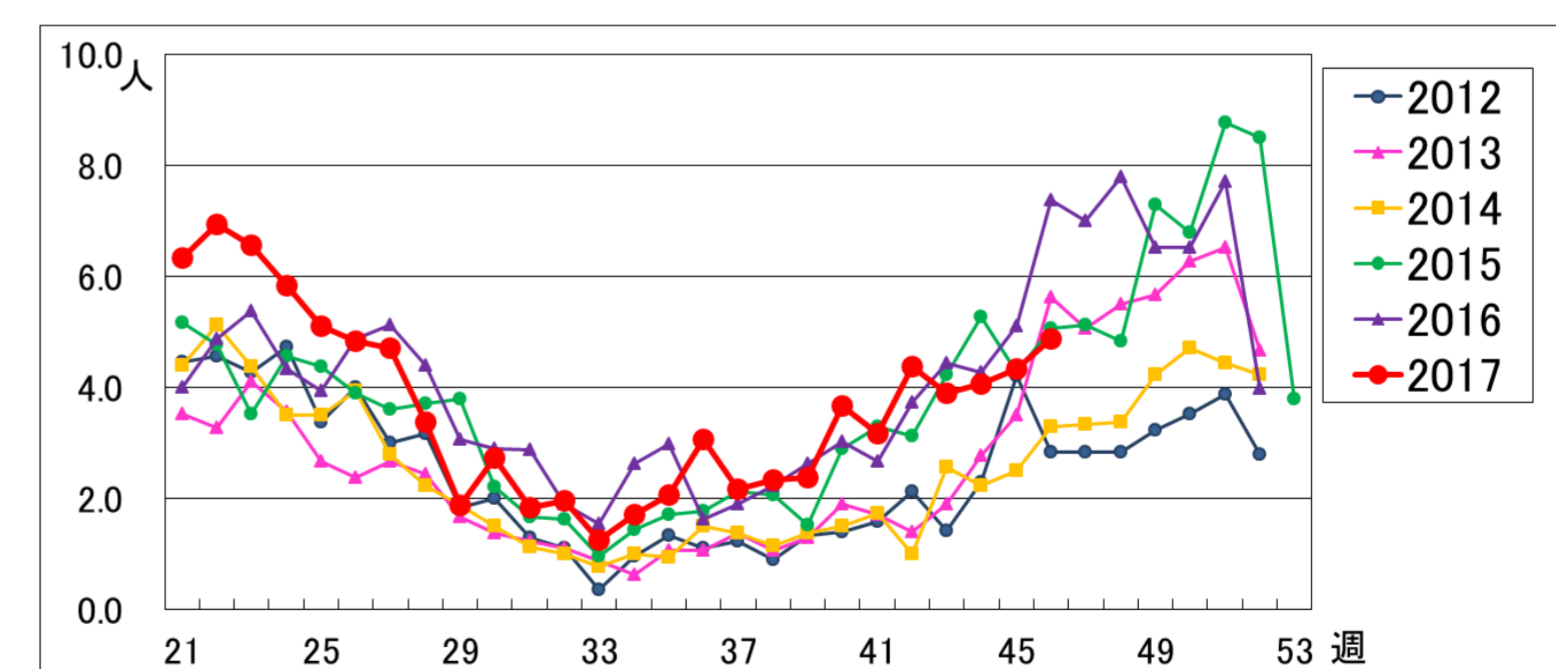
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

警報開始基準値:8人 警報終息基準値:4人

・第46週 定点当たり報告数 (山形県:4.9人)

村山地区 5.9人、最上地区 2.3人、置賜地区 8.0人、庄内地区 1.9人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症で、春～初夏と冬季に流行します。

【症状】2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)、咽頭発赤、莓舌などの症状が現れます。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。肺炎などの合併症を防ぐためにも、症状が改善しても医師に指示された期間、薬を飲むことが大切です。

【感染経路と予防法】患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れること等で感染しますので、一般的な予防対策(手洗いや咳エチケット等)が大切です。